

令和7年度 こうべ市歯科センターの管理運営に対する評価票

1. 施設概要

(1)設置目的	一般の歯科診療所における治療が困難な者に係る歯科治療等を行う。
(2)事業内容	こうべ市歯科センター（歯科診療所）において、障がい者、高齢者その他の一般の歯科診療所での治療が困難な者について、歯科疾患に関する相談、指導、診断、治療等を行う。 診療時間：月～金 9時～12時（受付11:30まで） 13時30分～17時（受付16:30まで） 治 療 法：心身障がい者歯科診療所で行っていた抑制法、鎮静法、全身麻酔にも対応
(3)施設内容	所 在 地：長田区二葉町5丁目1番1-201号（「アスタくにつか5番館」2階） 延床面積：614.49㎡ 診療設備：歯科診療台6台（内個室2室）、パノラマレントゲン2台、デンタルレントゲン3台

2. 指定管理に関する基本情報

(1)指定管理者名	公益社団法人 神戸市歯科医師会
(2)指定期間	令和5年4月1日から令和10年3月31日まで（5年間）
(3)選定方法	非公募（非公募事由：専門的かつ高度な技術を有する者が客観的に特定される場合）
(4)R7年度 市支出額（単位：円）	協定締結額（当初） 64,346,000円（令和7年度決算額） 64,481,769円

3. 令和7年度管理運営の主な実績 ※特に評価の対象とした実績を抜粋

評価項目		令和7年度の主な実績									
(1)管理実施状況											
①施設の維持管理業務		施設の維持管理業務について、施設の設備保全・清掃・警備業務等を行っており、期待した水準を十分満たしている。									
②施設の運営業務		施設の運営業務について、障がい者、高齢者その他の一般の歯科診療所で治療が困難な者に対する歯科診療所として、安全な治療を提供しており、期待した水準を十分満たしている。									
③自主事業等		なし									
(2)利用状況											
①施設の利用者数		▼ 入館者数（算出方法: 受診患者数）									
		目標	5,000人	実績	4,888人	未達成	要因	う蝕(虫歯)の罹患率は、全市的に減少傾向にあること、また同時に、これまで治療のために頻回に来院していた患者が、治療終了と同時にメンテナンスに移行し、数か月に一度の来院になることで、延べの受診患者数としては減ってきていると推察される。			
②各種事業の参加者数		▼ 市障がい者施設への訪問歯科健康診査（概要: まるやま学園等への訪問歯科健康診査）									
		目標	過去3年平均 98人	実績	4回93人	未達成	要因	当日の施設利用者(受診者)が少ない日があったことが原因と推察される。			
		▼ 市障がい者施設等への訪問歯科保健指導（概要: まるやま学園等への訪問歯科保健指導）									
		目標	過去3年平均 86人	実績	9回98人	達成	要因	要請のあった施設に訪問し、それぞれの施設での対象者に歯科保健指導を提供できている。実績の増は、コロナ禍において需要(依頼)が少なくなっていたものが戻ってきたことによる。			
		▼ 市民等対象の障がい者歯科医療研修会（概要: 市民対象の障がい者歯科医療にかかる講演会）									
目標	過去3年平均 92人	実績	106人	達成	要因	障がい者歯科医療に関するわかりやすい講演を、市民及び医療関係者に実施している。参加人数の増減は、講演内容によるものと推察される。					
(3)収支状況											
①利用料金収入(診療報酬)		目標	88,222 千円	実績	83,737 千円	未達成	要因	受診者数の減及び診療内容による			
②収支バランス		収入		148,180 千円	支出		148,316 千円	収支の差	-136 千円	目標	未達成
		内訳	指定管理料	64,346 千円	内訳	人件費	109,428 千円	設備管理費	7,529 千円	収支差がマイナスのため未達成とするが、ほぼ予定どおりの収支バランスである。(協定に基づき、赤字は追加補填を実施)	
			診療報酬	83,737 千円		連携研修会・研修会費	489 千円	その他	8,762 千円		
			その他	97 千円		訪問歯科保健指導費	150 千円				
						医薬材料費	11,345 千円				
						技工料	2,483 千円				
				需用費	8,130 千円						

(4)満足度調査の結果等					
①調査概要	調査期間:令和7年10月6日～10月17日(土・日・祝除く計9日間)				
	調査方法:利用者(患者)及び付き添いの方へのアンケート				
②結果(満足度)	回答者数:128名				
	設問数:15問				
③主な意見・苦情、対応	主な質問項目:治療の満足度、センターの認知方法、センター受診前の歯科診療等				

4. 項目別評価

評価項目	5段階評価	評価の理由
(1)管理実施状況	ほぼ提案どおり	仕様で定めた事項を適切に履行し、サービスの質的にも期待した水準であったため。
(2)利用状況	ほぼ提案どおり	仕様で定めた事項を適切に履行し、サービスの質的にも期待した水準であったため。
(3)収支状況	ほぼ提案どおり	仕様で定めた事項を適切に履行し、サービスの質的にも期待した水準であったため。
(4)満足度調査の結果等	ほぼ提案どおり	仕様で定めた事項を適切に履行し、サービスの質的にも期待した水準であったため。

※「提案」は「市が定める目標」と読み替えることができる。

5. 総合評価

評価項目	(A)配点	(B)項目別評価の係数換算	評価点(A×B)
(1)管理実施状況	50 点	1.0 (ほぼ提案どおり)	50
(2)利用状況	15 点	1.0 (ほぼ提案どおり)	15
(3)収支状況	15 点	1.0 (ほぼ提案どおり)	15
(4)満足度調査の結果等	20 点	1.0 (ほぼ提案どおり)	20
※評価点(合計)の総合評価変換			評価点の合計
【AAA】150～121点, 【AA】120～101点, 【A】100～81点, 【B】80～61点, 【C】60点			100 点
			総合評価
			A

令和7年度 神戸こども初期急病センターの管理運営に対する評価票

1. 施設概要

(1)設置目的	夜間、休日等における小児の救急患者に必要な医療を提供するため
(2)事業内容	(1)夜間・休日の初期救急診療事業 診療科：小児科 実施日：365日 診療時間：平日 20時～翌7時 ：土曜 15時～翌7時 ：日曜・祝日 9時～翌7時(年末・年始を含む) (2)子育て支援事業 ・こども急病電話相談事業 相談実施日：365日 相談時間：診療時間帯と同じ ・小児救急に関する知識の普及・啓発事業 子育て支援講座(ママとパパの医療講座)の開催や、神戸市内の幼稚園等への出前医療講座を実施し、病気・育児に関する最新情報、ホームケアについての正しい情報を提供し、小児救急に関する知識の普及と啓発に努める
(3)施設内容	所在地：神戸市中央区脇浜海岸通1丁目4番11号 敷地面積 2,500㎡、延床面積 1,279.88㎡ 診察室4、感染症診察室1、観察室、処置室、検査室、レントゲン室、調剤室、トリアージ室3、電話相談室、授乳室、スタッフ用託児室、会議室、患者用駐輪場、患者用駐車場(40台)

2. 指定管理に関する基本情報

(1)指定管理者名	一般財団法人 神戸市小児救急医療事業団
(2)指定期間	令和5年4月1日から令和10年3月31日まで（5年間）
(3)選定方法	非公募（非公募事由：専門的かつ高度な技術を有する者が客観的に特定される場合）
(4)R7年度 市支出額(単位：円)	協定締結額(当初)216,620,000円（決算額）367,742,412円

3. 令和7年度管理運営の主な実績 ※特に評価の対象とした実績を抜粋

評価項目		令和7年度の主な実績									
(1)管理実施状況											
①施設の維持管理業務		施設の設備保全・清掃・警備業務等は、期待した水準を十分満たしている。適宜修繕を実施し、施設の維持管理を適切に行っている。									
②施設の運営業務		休日及び夜間における小児科診療事業(利用者:18,539人)、こども急病電話相談の実施(電話相談:7,913件)									
③自主事業等		・出前医療講座:市内幼稚園へセンターの医師、看護師が出向き乳幼児がかかりやすい病気やホームケアを保護者・幼稚園教諭向けに解説(7か所にて実施) ・ママとパパの医療講座:土曜日にセンターにて医師、看護師、薬剤師が保護者向けに子どもの医療に関する講座を実施(2回実施) ・看護師、薬剤師が院内外の研修に参加したり、学会発表を行うことで、知識の習得・技術の向上に努めている(研修21回、学会参加10回、学会発表2回、外部講演5回) ・市内の小児救急医療機関と意見交換会を行い、他の医療機関との連携の強化を行っている。(1回)									
(2)利用状況											
①施設の利用者数		▼ 入館者数 (算出方法:センターの受診者数)									
		目標	前年度実績	22,719人	実績	18,539人	未達成	要因	新型コロナウイルスやインフルエンザの流行が短期的であったため。		
②各種事業の参加者数		▼ 子育て支援事業 (概要:親子向け、保護者・幼稚園教諭向けの医療情報講座)									
		目標	前年度実績	280人	実績	231人	未達成	要因	ママとパパの医療講座は、令和5年度までは新型コロナウイルスの感染拡大のため中止しており、令和6年度より再開したが、AED講習以外の参加者が著しく少なかったため、AED講習のみを2回実施した。 出前医療講座は幼稚園や幼稚園連盟からの申し込みにより実施しているが、令和7年度は個別の幼稚園からの申し込みのみであったため、参加者数が減少している。		
(3)収支状況											
①利用料金収入		目標	392,000 千円		実績	294,086 千円		未達成	要因 患者数が見込みを下回ったことによる診療報酬の減		
②収支バランス		収入		515,086 千円		支出		666,208 千円	収支の差 -151,122 千円	目標 未達成	
内訳	指定管理料		216,620 千円		内訳	人件費		407,731 千円	減価償却費	21,241 千円	患者数が見込みよりも少なく、診療報酬が減少したことや、委託費(人件費)の高騰により収支が赤字となったため。 (協定に基づき、赤字は追加補填を実施)
	診療報酬		294,086 千円			医薬材料費		30,999 千円	子育て支援事業費	14,789 千円	
	その他		4,380 千円			消耗品費		5,970 千円	諸経費	14,341 千円	
						委託費		109,167 千円			
						賃借料		18,155 千円			
						その他経費		43,815 千円			

(4)満足度調査の結果等					
①調査概要	調査期間:令和8年3月6日～3月12日(計7日間) 調査方法:診察終了後、会計窓口において保護者にアンケート用紙を配布し回答を依頼。 回答者数:203(回答率100%) 設問数:18 主な質問項目:設備・施設の快適性、診療の流れ、職員の対応、待ち時間、全体の満足度				
②結果(満足度)	▼施設の満足度(算出方法:「センター内の明るさや清潔感は」という質問に「満足」・「やや満足」と回答した人の割合)				
	目標	満足・やや満足 100%	実績	満足・やや満足 100%	達成 要因 施設の清掃等が適切に行われていると推察される。
	▼診察の流れの満足度(算出方法:「トリアージシステムは」という質問に「満足」・「やや満足」と回答した人の割合)				
	目標	満足・やや満足 97%以上	実績	満足・やや満足 97%	達成 要因 センター内の掲示物等により、トリアージの実施に理解いただけるような周知が適切に行っていると推察される。
	▼職員の対応の満足度(算出方法:「医師の話し方や態度は」という質問に「満足」・「やや満足」と回答した人の割合)				
	目標	満足・やや満足 92%以上	実績	満足・やや満足 94%	達成 要因 応対等に関する苦情があった場合、適宜指導を行っているため、対応が維持できていると推察される。
	▼待ち時間の満足度(算出方法:「待ち時間に関する感想は」という質問に「満足」・「やや満足」と回答した人の割合)				
	目標	満足・やや満足 68%以上	実績	満足・やや満足 73%	達成 要因 患者数の減少や、事務処理を円滑に行うことにより、待ち時間が短縮されたためと推察される。
	▼全体としての満足度(算出方法:「全体としての満足度は」という質問に「満足」・「やや満足」と回答した人の割合)				
	目標	満足・やや満足 91%以上	実績	満足・やや満足 97%	達成 要因 過去に課題となっていた待ち時間への不満が改善され、その他の項目も高い満足度を維持していることから、全体として高い満足度となっていることが推察される。
③主な意見・苦情、対応	<満足度調査> ①施設、診療について ・休日に診察していただけることに感謝している。 ・インフルエンザの検査をしていただけるのがありがたい。 ・内服時のアドバイ스가参考になった。 ・かかりつけ医が空いておらず診ていただけて安心した。 ②応対について ・みなさん優しく不安が和らいだ。 ・事前に電話でもわかりやすく説明してくださり助かった。 ・些細なことでも嫌な顔をせずに診療してくれて嬉しかった。 (苦情等) ・トリアージの看護師の対応が人によって全然違う。 ・問診の看護師が失礼な態度だった。 ・診察室に入っただけでも医師がこちらを見ずにPCを見ていた。 ・何度か受診しているが、時々、子どもの治療をわかっていないような医師がおり不安。 →苦情や意見があった場合には事務局及び、センター長、理事長へ報告があり、個人が特定できる場合は注意等の対応を行っています。 インシデントにつながるような行為があればセンター長より確認、指示(注意)しています。				

4. 項目別評価

評価項目	5段階評価	評価の理由
(1)管理実施状況	ほぼ提案どおり	仕様で定めた事項を適切に履行し、サービスの質的にも期待した水準であったため。
(2)利用状況	提案をやや下回る	提案値等を達成できなかったため(0.8倍以上1.1倍未満)。
(3)収支状況	提案を大幅に下回る	提案値等を達成できなかったため(0.8倍未満)
(4)満足度調査の結果等	ほぼ提案どおり	提案値等を達成したため(1.1倍以上1.2倍未満)

※「提案」は「市が定める目標」と読み替えることができる。

5. 総合評価

評価項目	(A)配点	(B)項目別評価の係数換算	評価点(A×B)
(1)管理実施状況	50 点	1.0 (ほぼ提案どおり)	50
(2)利用状況	15 点	0.8 (提案をやや下回る)	12
(3)収支状況	15 点	0.6 (提案を大幅に下回る)	9
(4)満足度調査の結果等	20 点	1.0 (ほぼ提案どおり)	20
評価点の合計			91 点
総合評価			A

※評価点(合計)の総合評価変換

【AAA】150～121点、【AA】120～101点、【A】100～81点、【B】80～61点、【C】60点